

## ビーチバレー及び天皇杯・皇后杯広島県予選結果報告並びに報告書の発行について

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

7/15 に鳥取県境港市新屋町海岸において、中国ビーチバレーが開催されました。

また、7/21、22 に広島県において、天皇杯・皇后杯広島県予選が開催されました。

広島大学の結果は、以下のとおりです。

### 【ビーチバレー】

(男子最終結果)

優 勝 福山平成大学ペア

準優勝 広島大学(保坂・山下)ペア

第3位 岡山大学ペア

※広島大学男子は6ペア出場

### 【天皇杯広島県予選】

(男子Aチーム)

2回戦 vs 広島修道大学

○2-0 (25-17、25-17)

3回戦 vs 瀬戸内高校A

●1-2 (19-25、25-21、19-25)

(男子Bチーム)

1回戦 vs BLAST (クラブ)

○2-0 (25-23、25-21)

2回戦 vs 広島経済大学

●0-2 (16-25、21-25)

### 【皇后杯広島県予選】

2回戦 vs 大和スポーツ少年団

○2-0 (25-19、25-20)

3回戦 vs 福山平成大学

●0-2 (18-25、12-25)

(広大バレー部 X (Twitter))

<https://twitter.com/hirodaiVOLLEY>

ここでは、皇后杯広島県予選について振り返ります。西日本インカレからちょうど1か月後の公式戦となりましたが、はっきり言って変わったところはほとんどありませんでした。良いところと言えば、センターの東(3年・愛媛・宇和島東高校)がチームの中心として、プレー面、精神面で引っ張り、助走と踏み込みが十分のときには、相手2枚でも決めることが出来ていました。また、レフトの西岡(1年・兵庫・姫路高校)にはトレーニングの成果を唯一を感じ、特にボールとの距離感が上手く測れるようになりました。ボールを処理できる範囲と選択肢が確実に増えていますので、この調子でトレーニングに励んで欲しいと思います。一方の課題としては、サーブカットはボールを上上げるのが精一杯で、キャッチのリズムなど全くなく、むしろセッターの新宅(4年・広島・安古市高校)はよく上げていると思うほどです。しかし、割れたところから十分な攻撃ができるだけの技術力はもちろんないため、常に相手ブロッカーが2枚つき、スピード感とはもはや対極にあるバレーボールです。これでよく得点が入るなど、逆に感心してしまいます。

失点しているのは強打ではなく軟打ですが、取りにいかなくていいところで取りにいき、取りにいかないといけないところで取りにいかない、それを何度も繰り返しています。メンバーチェンジでレシーブの良い大嶋(2年・和歌山・桐蔭高校)が入っても、大嶋の正面のボールさえ他の選手が取ってしまい、これではチームとして成長することがありません。取りにいかないといけないところで取りにいかないのは、自分のボールを周りの選手に取られ過ぎて、自分のボールが何処なのか、何なのか分からなくなっているからです。そして、なぜ取りにいつてしまうかと言えば、それは仲間を信頼していないからです。信頼は、チーム練をしたからと言って生まれるものではありません。ボールを使わないトレーニングや基礎練習でも、いや、トレーニングや基礎練習でこそ築き上げられるものです。昨春、ポロポロだったチームを蘇らせたのは、主将の有川がみんなに任せた、各々に役割と責任を与えた信頼からでした。この信頼なしには、トレーニングで体力が向上しても、バレーボールが上達することはありません。

キャッチもレシーブも相手がボールを打つまでは待っているだけで、これではその場から一歩も動けないのは当然です。そもそも身体的にも技術的にも差がある相手に勝とうとしているはずなのに、それらを補うための努力は何一つ感じません。現状に満足している、もしくは満足してしまっていることに気が付いていない選手が多すぎます。与えられたメニューをクリアして達成感を得ているようでは、目標とする相手との差は開く一方です。きつ

と秋には、目標としていたはずの相手がすり替わり、2部上位で満足するチームになっていることでしょう。これから夏休み期間に入り、自分とチームと向き合う時間が増えると思いますが、自分にとってバレーボールは上辺だけの目標なのか、それとも本当に心の底から向き合うほどの目標なのか、暑くなればなるほど、時間があればあるほど、それは結果として如実に現れます。これぐらいでいい、と思う自分をどう思うのか、まずはそこに気付いて考えることが必要だと思います。

これで上半期の全ての公式戦が終了しました。

会場にてご声援いただいた皆様、各地よりご声援やご支援、ご連絡いただいた皆様、誠にありがとうございました。

さて、先日、2024年広島大学体育会バレーボール部「同窓会総会・懇親会・強化練習会」報告書を発行いたしました。

今年は講演会形式ではなく、西村先生との懇親会をオンラインで開催し、本を読むことの大切さ、琴線を鋭くすることについてお話いただきました。

また、強化練習会では数多くのチームにご参加いただき、65期の金尾先生、66期の遠藤先生をはじめ、ご参加いただいた先生方に多大なご尽力をいただきました。

この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

同窓会費・援助金のご案内についても同封させていただいておりますので、引き続きご支援ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

なお、住所変更等がございましたら、以下 Forms からご連絡ください（メール便のため、転居された場合は、郵便の転送設定をされていても転送されませんのでご注意ください）。

<https://forms.office.com/r/55YZ050hKV>

下半期も引き続きよろしく願いいたします。